



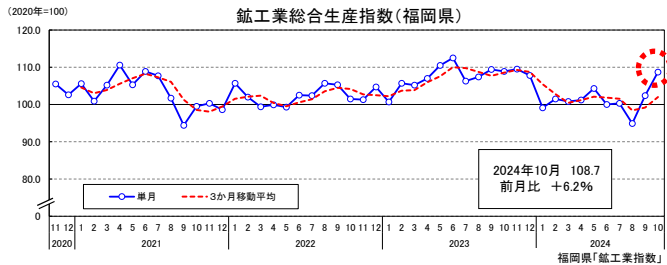
ふくおかの経済

令和6年12月号

生産

持ち直しの動きがみられる。

10月の生産指数は、輸送機械工業、食料品工業などが上昇したため、2か月連続で前月を上回りました。

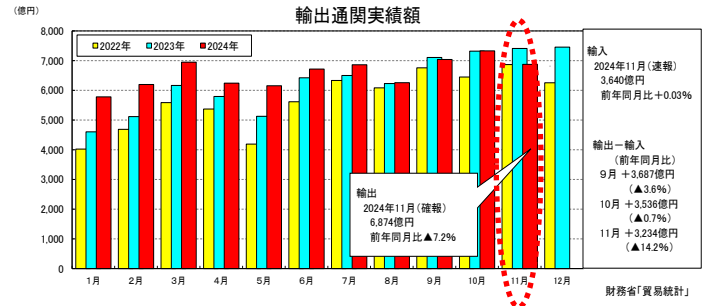


鉱工業生産指数は、2020年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出額は、前年同月を下回っている。
輸入額は、前年同月を上回っている。

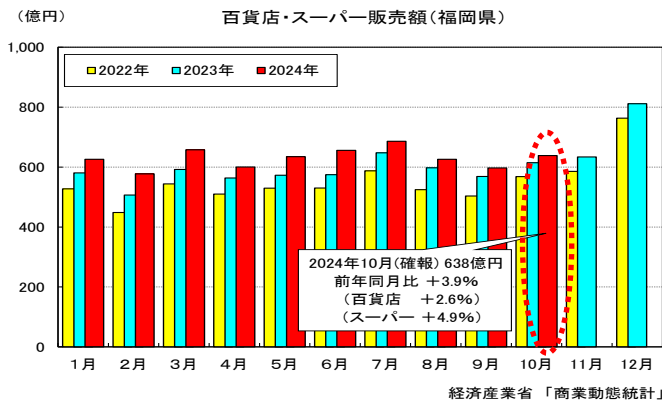
11月の輸出額は、前年同月比▲7.2%と前年同月を下回りました。輸入額は、同+0.03%と前年同月を上回りました。



消費

緩やかに回復している。

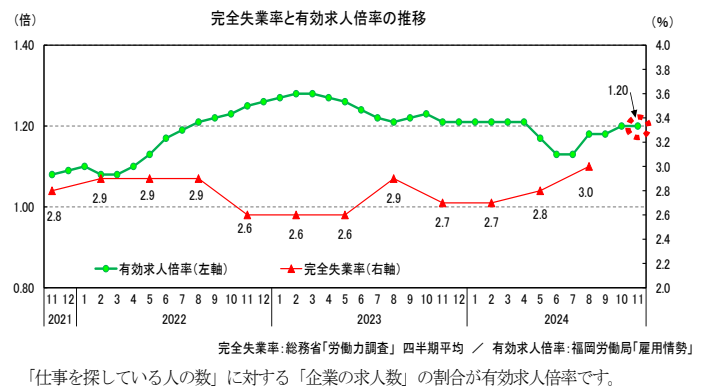
10月の百貨店・スーパー販売額は、37か月連続で前年同月を上回りました。



雇用

雇用情勢は、改善している。

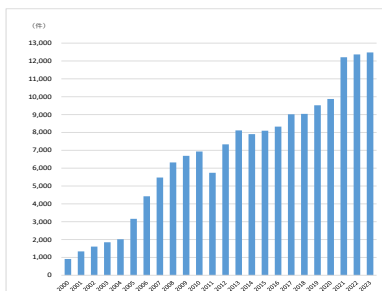
11月の有効求人倍率は1.20倍で、前月と同水準となりました。



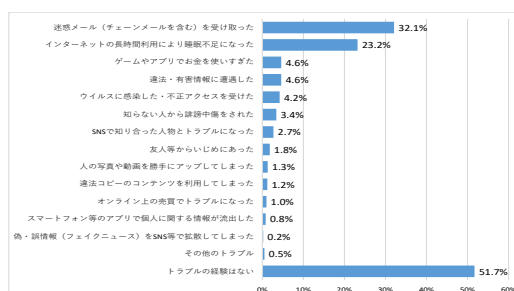
今月のトピック インターネット・リテラシーの必要性

- インターネット・リテラシーとは、インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力のことです。サイバー空間は国民生活や社会経済活動等、あらゆる場面で実空間との融合が進んでおり、それと同時に、サイバー空間を利用した事件も増加しています(図表1)。
- 特に未成年は、年齢が低いほど判断能力やインターネットの危険性に関する知識等が不十分なため、トラブルに遭う可能性が高くなってしまふと考えられます。総務省が高校生を対象に行った調査では、「トラブルの経験はない」と回答した生徒の割合は51.7%であり、約半数が実際にトラブルに遭った経験があるという結果になりました(図表2)。また、小学6年生以前からインターネットを使い始めていた割合は43.2%にのぼります(図表3)。
- 現代では、インターネットは生活するうえで不可欠なものとなっているため、早い段階から慣れ親しむことは大切ですが、未成年に対しては同時にその危険性を理解し回避する判断力の醸成が肝要です。

図表1 サイバー犯罪の検挙件数の推移



図表2 インターネットの利用に際して遭ったことのあるトラブル



図表3 インターネット利用開始時期

